請負工事施行成績評定要領

平成23年10月3日制定

令和3年8月25日改正

第1 目的

この要領は、管理組合が発注する請負工事に係る管理又は出来形等の成績評定に関する事務の取扱いについて必要な事項を定め、請負業者の指導育成並びに入札参加者の資格審査における主観的要素に係る審査に資することを目的とする。

第2 評定対象工事

- 1 評定は、1件の契約金額が200万円以上の請負工事について行うものとする。ただし、管理者が必要がないと認めたものについては、評定を省略できる。
- 2 工事成績の評定は、工事の施工状況、目的物の品質等について行うものとする。

第3 評定者

工事成績の評定者は、請負に付した建設工事に係る管理又は出来形等について、当該監督又は検査を行った工事監督員及び検査員とする。

第4 評定の方法

工事成績の評定は、工事施行成績評定表（別記第1号様式。以下「評定表」という。）により、別に定める工事施行成績評定基準に基づき、請負工事ごとに行うものとする。

第5 評定表の提出

評定者は、建設工事が完成したときは、速やかに評定表を作成し、管理者に提出するものとする。

第6 評定結果の通知

管理者は、評定者から評定表の提出があったときは、速やかに、その結果を別記第2号様式により当該工事の請負人に通知するものとする。

第7 評定の修正

管理者は、第6の評定結果の通知をした後において、評定を修正する必要があると認める場合は、評定を修正し、速やかに、その結果を別記第2号様式により既に通知した評価結果とともに請負人に通知するものとする。

第8 説明請求等

- 1 管理者は、第6及び第7の評定結果を通知するに当たっては、当該結果を通知した日

の翌日から起算して14日（苫小牧港管理組合の休日に関する条例（平成4年条例第1号）第1条第1項に規定する休日（以下、「休日」という。）を含まない。）以内に、書面により、評定の内容について説明を求められることができる旨、併せて通知するものとする。

- 2 管理者は、1の説明を求められたときは、評定表を審議の上、速やかに、別記第3号様式により回答するものとする。
- 3 管理者は、2の回答において評定の内容についての説明に不服がある場合は、回答を受け取った日から14日（休日は含まない。）以内に、再苦情の申立てを行うことができる旨、併せて通知するものとする。

第9 評定表の整理

管理者は、当該年の1月1日から12月末日までに完成した建設工事に係る評定表を1年として整理するものとする。

第10 要領及び評定結果の公表

- 1 管理者は、閲覧所において、この要領を公表するものとする。
- 2 第6の規程により評定結果を通知した管理者は、前項の閲覧所において、遅滞なく、別記第2号様式の写しにより当該評定結果を公表するものとする。この場合において、公表期間は、公表した日の翌日から起算して1年が経過する日までとする。
- 3 前項の規定は、第7の規定により評定を修正した場合について準用する。

第11 評定の施行

この要領は、令和3年8月25日から施行する。